



ひ か り 結 ぶ ま ち

がりや 景観れぽーと



テーマ
商業建築物編 (その1)

VOL.7

発行日：平成13年3月19日
発行：刈谷市都市計画課
TEL (0566) 62-1022

今回のれぽーとは「商業建築物」についての実践編を取り上げます。

その中でも商店の顔の一部となり、また、まちなみに彩りと活気を提供してくれる「屋外広告物・サイン」の作法について紹介します。

皆さんで、刈谷の活気と秩序のある彩り豊かなまちにしてみませんか？

屋外広告物・サインの作法

- Point 1 掲載する情報量は最小限にしよう
- Point 2 建物との調和に配慮しよう
- Point 3 格調高いデザインとなるよう工夫しよう
- Point 4 維持管理に配慮した素材を使おう



Point 1

掲載する情報は最小限にしよう

屋外広告物に掲載する情報は、出きる限り少なくし、すっきりした表示になるよう努めましょう。



●すっきりと洗練されたデザインです。



Point 2

建物との調和に配慮しよう

設置する建物の規模や形態、色調等との調和に配慮するとともに、周囲のまちなみや自然的な風景等の中での調和にも配慮しましょう。



●建物の色調に調和した屋外広告物です。



Point 3

格調高いデザインとなるよう工夫しよう

店舗やまちなみに彩りを添えるアクセントとなるよう、シンプルなものにもきらりと輝く格調高いデザインとなるよう工夫しましょう。



●建物のアクセントとして、また照明で、より一層格調の高いデザインとなっています。



Point 4

維持管理に配慮した素材を使おう

日光や風雨、その他日常の衝撃などに強い素材、また、いつまでも綺麗な状態に保つことができるよう維持管理が容易な素材を用いましょう。

●ステンレスなどの耐候板が用いられ、劣化に強く出来ています。



● まちづくり活動紹介 ●

—— 小山子ども会 ——

最近のガーデニングブームなどによって、住宅や商店の入口周辺が色とりどりの草花で飾られ、個々の家の前が明るく華やかになりつつあります。

このような一軒一軒の取組みの連続が、まち全体に潤いのある彩りの形成につながることでしよう。

そうした中、小山子ども会では、地域の小学生とその父兄の皆さんが協力しあい、市民館の前での花壇づくりを行っています。この日々の努力と、その成果である美しい花壇に対し、刈谷市子ども会育成連絡協議会主催のフラワーコ

ンクールで、2回連続（平成12年春季・秋季）の最優秀賞を獲得しています。

今回は、その取組みに参加している皆さん（高西詩織さん、二宮京子さん、壬生歩さん、鈴置愛弓さん）にお話を伺いました。



Q市民館の前での花壇づくりでは、どんなことをしているのですか？

A小山子ども会が中心になって、苗植えから水やり、草むしりなどを行い、全員当番制で花壇の世話をしています。また、子ども会の人だけでなく、近くに住んでいる人も、水やりなどの花壇づくりに協力してくれています。みんなで花を植える時が一番たのしいです。

Qもっと、小山地区を美しくしていくためには、どうすれば良いと思いますか？

A地域の各家に花の種を配り、その種を玄関先に植えて、花いっぱいのにちになれば良いと思

います。まちいっぱいの花づくりを通じて、地域の人たちの輪が広がり、その輪を様々な活動につなげていくことが良いと思います。

